



埼玉県(平成23年6月)版 NPO法人自己診断シート

《このシートについて》

- このシートは、NPO法人が自分たちの現状を確認し、問題点を明確するために利用するシートです。
- 8つの分野別に作成しています。診断結果に集計いただき、強い分野、弱い分野の自己診断をしてください。
- このシートの記入にあたっては、必ず複数の方で行ってください。事務局・役員など立場は問いません。
- 後日案内する専門家による個別支援を希望する場合は、必ず事前にシートの作成をお願いすることになります。

【問合せ先】

埼玉県 県民生活部 NPO活動推進課 認証・相談担当
電 話 048-830-2818
FAX 048-830-4751

本シートは、「NPO組織評価システム 2001」(特定非営利活動法人コミュニティ・シンクタンク「評価みえ」)を基に、埼玉県がNPO等の協力を得て独自に作成したものです。

埼玉県(平成23年6月)版 NPO法人自己診断シート 目次

1	組織ミッション(活動支援)とリーダーシップ	1
1-①	ミッションの具体化	
1-②	ミッション共有	
1-③	計画策定	
1-④	リーダーシップ	
2	運営体制	2
2-①	組織基盤	
2-②	活動支援者数	
2-③	スタッフ会議	
2-④	会員(支援者)の満足度	
3	プロセス・マネジメント	3
3-①	活動記録の文書化	
3-②	意思決定機関	
3-③	事業の優先順位	
3-④	費用対効果	
4	情報公開と活用	4
4-①	情報公開	
4-②	情報活用	
5	会計の透明性と持続性	5
5-①	財務管理	
5-②	外部監査(正規の簿記による記帳)	
5-③	安定収入	
5-④	収入源のバランス	
6	スタッフ管理	6
6-①	スタッフ教育	
6-②	スタッフ満足度の把握	
7	受益者ニーズの理解と対応	7
7-①	ニーズ調査	
7-②	受益者満足度の把握	
8	その他	8
8-①	ソーシャル・キャピタル(社会関係資本、社会的ネットワーク)	
8-②	法令遵守	
○	診断結果	9

1-① ミッションの具体化

明確な組織の目的・ミッション(我々は何を達成しようとしているのか)を具体的に定めてありますか？

- 1) 明確に文書化された組織ミッションがある
- 2) 漠然とした組織ミッションがある
- 3) ない

A
D
F

1-② ミッション共有

組織ミッションは、スタッフ(有給職員やボランティア)の間で共有されていますか？

- 1) スタッフの全員が、ミッションを口頭で述べるができる
- 2) スタッフの全員が、ミッションの大意を理解している、またはスタッフの主要メンバーが口頭で述べるができる
- 3) スタッフの主要メンバーの間では、ミッションの大意が共有されている
- 4) それぞれ別々のミッションを信じている、またはミッションがない

A
C
D
F

1-③ 計画策定

ミッションを実現するための短期計画(1～2年)や中長期計画(3年以上)を策定していますか？

- 1) ミッションと整合性のとれた短期計画と中長期計画を策定している
- 2) 短期計画のみ策定している
- 3) 計画を策定していない、または策定しているがミッションと整合性が取れていない

B
C
E

1-④ リーダーシップ

組織のリーダー(代表者)は組織の進むべき方向を示し、その実現のためにリーダーシップを発揮していますか？

- 1) リーダーは組織が進むべき方向をしっかりと打ち出しており、問題が起きた場合にもリーダーが率先してスピーディーに対応している
- 2) リーダーは組織が進むべき方向を打ち出しているが、あとは担当者任せで十分にリーダーシップを発揮しているとは言えない
- 3) リーダーは組織が進むべき方向を漠然としか示していない
- 4) リーダーは組織が進むべき方向を全く示していない

B
D
E
F

2-① 組織基盤

次のア～クの中で該当するものは、いくつありますか？

- ア. 専用の事務所がある
- イ. 専用の電話がある
- ウ. 専用の FAX がある
- エ. 専用の E-mail アドレスがある
- オ. 組織の紹介パンフレットがある
- カ. 独自の Web サイトがある
- キ. 専従スタッフがいる
- ク. 有給スタッフがいる

- 1) ア～カの8つ全てに該当
- 2) ア～カの6つ以上に該当
- 3) ア～カの3つ以上に該当
- 4) ア～カの2つに該当
- 5) ア～カの1つに該当
- 6) ア～カの中で該当するものがない

A
B
C
D
E
F

2-② 活動支援者数

活動を手伝ってくれる支援者(登録者)はどれくらいいますか？

- 1) 100人以上
- 2) 50人以上
- 3) 30人以上
- 4) 10人以上
- 5) 10人未満

A
B
C
D
E

2-③ スタッフ会議

事業の進捗状況確認や意見交換の場としてのスタッフ会議を定期的
開いていますか？

- 1) 週1回以上の頻度で会議を開いている
- 2) 月1回以上の頻度で会議を開いている
- 3) E-mail や FAX 等を会議の代わりとしている
- 4) 会議をあまり開いていない

A
B
D
E

2-④ 会員(支援者)の満足度

会員(支援者)が法人運営に満足しているか、定期的に満足度調査を実施し、法
人運営、事業計画の改善に反映する仕組みがありますか？

- 1) 会員(支援者)満足度調査を定期的実施し、その結果を法人運営、
事業計画の改善に具体的に活かしている。
- 2) 会員(支援者)満足度調査を必要がある時に実施し、その結果を法人運営、
事業計画の改善に活かすよう努力している。
- 3) 会員(支援者)満足度調査をほとんど実施せず、役員・管理職の
想像・印象に頼っている。

A
C
E

3-① 活動記録の文書化

会議の議事録や事業報告書など、組織活動の記録を文書化し、保管していますか？

- 1) 会議の議事録と事業報告書は必ず作成するようにしている
- 2) 重要な会議の議事録や大きな事業の報告書は作成している
- 3) 時々、気がついた人が記録する程度
- 4) 特に組織活動の記録を文書化して残す努力はしていない

A
C
E
F

3-② 意思決定機関

組織の意思決定機関が制度として機能していますか？

- 1) 組織図や規約で意思決定機関の役割・権限が明示されており、その構成員（理事など）の選定過程が透明性のある手続きのもとで行われている
- 2) 組織図や規約で意思決定機関の役割・権限が明示されているが、その構成員（理事など）の選定方法が明確にされておらず曖昧な状態
- 3) 意思決定機関に関する規定がなく、その構成員も漠然としている状態

B
D
E

3-③ 事業の優先順位

組織として取り組むべき事業に優先順位をつけて、経営資源（時間・お金など）を効率的に配分していますか？

- 1) 事業の優先順を決める明確な基準があり、優先事業として選ばれたものに経営資源（時間・お金など）を重点的に配分している
- 2) その場の議論の流れや雰囲気、事業の優先順位を決めている
- 3) 事業の優先順位を決める基準はなく、どれも最優先の事業として実行している

B
D
E

3-④ 費用対効果

事業を計画する際に、「経営資源（時間・お金）の最小投入、事業成果の最大効果」の観点から事業を設計する仕組みがありますか？

- 1) 事業の計画段階で、費用対効果の審査基準を設けている
- 2) 事業の計画段階で、感覚的に費用対効果を判断している
- 3) 全く費用対効果の観点がない

B
D
E

4-① 情報公開

次のア～エの中で外部に情報公開しているものはどれですか？

- ア. 財務情報
- イ. 採用・求人情報
- ウ. 職員スタッフ情報(名前・プロフィールなど)
- エ. 組織図

- 1) ア～エの4つの全てを情報公開している
- 2) ア～エの中で3つ情報公開している
- 3) ア～エの中で1～2つ情報公開している
- 4) ア～エの中で情報公開しているものがない

B
C
D
F

4-② 情報活用

作成された議事録や事業報告書などの情報は、組織内の誰もがアクセス容易で活かせるようになっていますか？

- 1) 組織内で蓄積されている活動記録(議事録や事業報告書など)の情報は、調べやすいように分類されており、スタッフの誰でも気軽に活用できる。
- 2) 組織内で蓄積されている活動記録(議事録や事業報告書など)の情報は、分類されておらず、必要な記録や情報を探し出すのに苦労する。
- 3) 文書化された活動記録はない、またはどこに何があるか全く分からない。

A
D
E

5-① 財務管理

公正で明瞭な会計処理を行っていますか？

- 1) 勘定科目マニュアルが整備されており、財産目録・貸借対照表・収支計算書がきちんと作成されているだけでなく、誰が見ても確認できる状態である。
- 2) 勘定科目マニュアルが整備されていないが、それなりに帳簿には記録している。
- 3) 帳簿がほとんど記録されていない状態で、領収書も散逸しがちである。

A

D

F

5-② 外部監査(正規の簿記による記帳)

会計報告書を作成する際に外部監査を行っていますか？

- 1) 直接利害関係のない公認会計士に外部監査を依頼している。
- 2) 正規の簿記の記帳をしている(青色申告法人の帳簿を作成している)
- 3) 外部監査を行っていない(組織の関係者が監査をしている)。
- 4) 会計報告書を作成していない。

A

C

E

F

※「認定NPO法人」: その会計について公認会計士若しくは監査法人の監査を受けていること、又は法規第53条から第59条までの規定(青色申告法人の帳簿書類の保存)に準じて帳簿書類を備え付けてこれにその取引を記録し、かつ、当該帳簿書類を保存していること【措規 22 の 12⑰】

5-③ 安定収入

毎年、組織活動に十分な安定的な収入がありますか？

- 1) 毎年、組織活動に十分な継続性のある収入があり、翌年度予算など先のことも見通せる。
- 2) 収入は年度によって多少のバラツキがあるが、事業内容を見直す程度で組織運営上は問題ない。
- 3) 収入は年度によって大きく異なり、組織の運営基盤(スタッフ数・事務所など)も大きく左右される可能性がある。
- 4) 安定収入はほとんどなく、先も見通せない。

A

B

D

E

5-④ 収入源のバランス

収入の大半を特定の団体や個人に頼ることなく、組織の意思を発揮できるバランスの取れた収入源となっていますか？

- 1) 自己裁量の効く収入(会費収入・寄附金・自主事業収入)が全体の3分の2以上を占めている。
- 2) 自己裁量の効く収入(会費収入・寄附金・自主事業収入)が全体の3分の1以上を占めている。
- 3) 自己裁量の効く収入(会費収入・寄附金・自主事業収入)が全体の3分の1未満(自己裁量の効かない助成金収入や受託事業が3分の2以上)を占めている。

A

C

E

※「認定NPO法人」: 実績判定期間における経常収入金額のうちに寄附金等収入金額の占める割合が5分の1以上であること【措令 39 の 23⑰一、⑰】

6-① スタッフ教育

次のア～エの中で該当するスタッフ教育はありますか？

- ア. 能力開発のためのセミナー開催
- イ. 研修への派遣
- ウ. 自己啓発のための金銭的支援
- エ. 自己啓発のための勤務時間の融通

- 1) ア～エの4つの全てを実施している
- 2) ア～エの中で3つ実施している
- 3) ア～エの中で1～2つ実施している
- 2) ア～エの中で実施しているものがない

A
B
D
E

6-② スタッフ満足度の把握

スタッフが職場環境に満足しているか、定期的に満足度調査を実施し、職場環境の改善に反映する仕組みがありますか？

- 1) スタッフ満足度調査を定期的に実施し、その結果を職場環境の改善に具体的に活かしている。
- 2) スタッフ満足度調査を必要がある時に実施し、その結果を職場環境の改善に活かすよう努力している。
- 3) スタッフ満足度調査をほとんど実施せず、役員・管理職の想像・印象に頼っている。

A
C
E

7-① ニーズ調査

組織の受益者が何を欲しているのか、受益者ニーズを定期的に調査し、事業計画に反映する仕組みがありますか？

- 1) 受益者ニーズ調査を定期的に実施し、その結果を必ず事業計画書に活かしている。
- 2) 受益者ニーズ調査を必要がある時に実施し、その結果を必ず事業計画書に活かすように努力している。
- 3) 受益者ニーズ調査をほとんど実施せず、スタッフの知識・見識に頼っている。

A

C

E

7-② 受益者満足度の把握

組織の受益者がこれまで実施した事業に満足しているのか、定期的に受益者満足度調査を実施し、事業計画の改善に反映する仕組みがありますか？

- 1) 受益者満足度調査を定期的に実施し、その結果を事業計画の立案の際に具体的に活かしている。
- 2) 受益者満足度調査を必要がある時に実施し、その結果を事業計画に活かすように努力している。
- 3) 受益者満足度調査をほとんど実施せず、スタッフの想像・印象に頼っている。

A

C

E

8-① ソーシャル・キャピタル(社会関係資本、社会的ネットワーク)

次のア～カと対等なつながりを持っているものは、いくつありますか？

- ア. 県
- イ. 市町村
- ウ. 企業
- エ. 大学
- オ. 自治会等の地域団体
- カ. 他のNPO法人

- 1) ア～カの6つ全てに該当
- 2) ア～カの5つ以上に該当
- 3) ア～カの3つ以上に該当
- 4) ア～カの1～2つに該当
- 5) ア～カの中で該当するものがない

A
B
C
D
E

8-② 法令遵守

次のア～カについて、法人として十分な形で事務を行っているものは、いくつありますか？

- ア. 特定非営利活動促進法
- イ. 税務事務
- ウ. 労務管理
- エ. 個別の事業に係る法律
- オ. 法人の定款
- カ. 法人の倫理規定

- 1) ア～カの6つ全てに該当
- 2) ア～カの5つ以上に該当
- 3) ア～カの4つ以上に該当
- 4) ア～カの3つ以上に該当
- 5) ア～カの1～2つに該当
- 6) ア～カの中で該当するものがない

A
B
C
D
E
F

診 断 結 果



◎各設問で、該当する解答に丸印をつける

◎A=20点、B=15点、C=10点、D=5点、E=0点、F=-5点で各項目ごとに集計する

点 数		A	B	C	D	E	F	計
		20	15	10	5	0	-5	
1 組織ミッションと リーダーシップ	1 ミッションの具体化							
	2 ミッションの共有							
	3 計画策定							
	4 リーダーシップ							
	小計							/70
2 運営体制	1 組織基盤							
	2 活動支援者数							
	3 スタッフ会議							
	4 会員の満足度							
	小計							/80
3 プロセス・ マネジメント	1 活動記録の文書化							
	2 意思決定機関							
	3 事業の優先順位							
	4 費用対効果							
	小計							/65
4 情報公開と活用	1 情報公開							
	2 情報活用							
	小計							/35
5 会計の透明性と 持続性	1 財務管理							
	2 外部監査							
	3 安定収入							
	4 収入源のバランス							
	小計							/80
6 スタッフ管理	1 スタッフ教育							
	2 スタッフ満足度の把握							
	小計							/40
7 受益者ニーズの 理解と対応	1 ニーズ調査							
	2 受益者満足度の把握							
	小計							/40
8 その他	1 ソーシャル・キャピタル							
	2 法令遵守							
	小計							/40
合計								/450